

放課後等デイサービスにおける自己評価結果(公表)

公表:令和2年3月31日

事業所名 ハートピア出雲スマイル(スクラム)

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1	7	・パーテーションでエリアを分ける事や、学習の際に時間や場所を指定するなどすることで環境を調整している。	・1日20名の利用に対して、障害特性など子どもの状況に応じた療育を実施する際に個の空間のスペースが足りていない。
	2 職員の配置数は適切であるか	1	7		・国の基準に対して、職員人数は確保することができているが、個別対応を必要とする児童の増加や個別療育実施などにより基準以上の指導を行うには職員数が不足することがある。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	1	・子どもが危険が無いように誘導していることやバリアフリーによって水が溜まってしまいうエリアにはいかにないように通路を確保するなど努めている。	・バリアフリー化することはできている。ただ、雨天時にアプローチが滑りやすいことや屋根がない箇所がある為、濡れてしまうことがある。
業務改善	4 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8	0	・毎日午前中に、前日の振り返りと当日の活動の流れや、支援方法についてのミーティングを行っている。また1回/月の支援会議では月案の活動や療育の方法、勉強会などを行い業務改善に取り組んでいる。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	0		・保護者向けアンケート調査を実施していることや、施設玄関口に目安箱を設置しており、今後も質の向上の為にやっていく。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	0		・HPで公表を行っている。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	1		・評価機関による第三者評価は実施していないが、毎年島根県や市役所の実施指導監査を受け、業務改善や意見交換を行っており、今後も質の向上に努めていく。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	0	・施設に研修委員が存在しており、その中で研修会の開催や外部研修への参加の回覧を行い、事業所全体で周知している。	
適切な支援	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	0	・毎年アセスメントを更新している。 ・定期的(最長6ヶ月以内)に懇談を行い、個別支援計画書の見直しや支援方法について保護者の方及び本人を含めて見直しを行っている。	
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	0	・日々のミーティングの中で、子どもたちの行動を応用行動分析に基づいて分析し、効果的な支援が行えるように努めている。 ・排泄の記録など必要に応じて、アセスメントツールを使用している。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	0	・月案によって担当を決め、職員で協議しながら活動内容を決めている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	1		・月案や日々のミーティングの中で、子ども達に必要なスキルに応じた療育内容を検討し実施している。子ども達の障害特性に応じて活動の流れなどは固定している面はある。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8	0	・子どもにとっての必要なスキルや個別目標に合わせて活動を設定するように努めている。	

項の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	0	・モニタリングを半年に1回以上実施しており、個別及び集団での様子を踏まえ作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	0	・毎朝その日の職員の動きや役割を確認すること、利用児の前回利用時を踏まえての支援の確認を行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか	6	2	・共有できる職員に関しては、その日に振り返りを行うが、毎回翌日の午前中に必ずミーティングを行い、前日の振り返りと、当日の子どもの目標と支援者の役割などを話し合い記録に残している。	・職員の勤務状況により、支援終了後に情報共有をすることは一部の職員しか行っていないが、翌日に必ずミーティングを行い情報を共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	0	・ミーティングを行い職員間で情報を共有しながらPDCAサイクルに基づき療育の改善を検証しながら記録をとるように実施している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8	0	・モニタリングを半年に1回以上行い、職員間で支援方法など見直している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	8	0	・放課後等デイサービスガイドラインを意識しながら、支援方法や活動の内容を職員で会議の中で決めている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	0	・ケース会議には、児童発達支援管理責任者や児童指導員などが参加している。また、他事業所とも普段から連携をとりながら支援方法を共有している。	・ケース会議によっては、現場の支援や会議が重複することがあり参加することが難しいことがある。 ・参加出来ない時には、情報提供を行うようにしている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8	0	・学校の年間計画表を保護者の方に提出して頂いている。 ・送迎時間(下校時刻)の変更は都度保護者の方に連絡を頂いている。また児童の引き渡しは原則学校の先生を介して引き渡しをしてもらいその日の様子など申し送りをしていただいている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	8	0	・連絡体制は整っており、日ごろよりまめネットを介して情報を共有している。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	8	0	・ケース会議などに参加し相互理解に努めている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	8	0	・情報提供書や子どもと一緒に作成したプロフィールブックを活用し情報を提供している。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と提携し、助言や研修を受けているか	8	0	・当事業所の児童発達支援センター内だけでなく、利用されている方が関わっている事業所の方と連絡を取りながら支援方法を共有している。	
	26	放課後等児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	0	・あったかスクラム事業を介して、年に1度地域の行事(ウォークラリーなど)の参加を促すことや職員も行事に参加している。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	8	0	・ハートピア出雲として参加しており、積極的に活動に参画している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	2	・降所時に子どもの様子を保護者の方と話すことを今後も心掛けて行くとともに重要な事について伝えきれない場合には電話などで伝えるように行っていく。	・降所時に保護者へ子どもの様子を伝えることを心掛けてはいるが、子どもの状況などによっては十分に伝えきれない場合もある。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	8	0	・今年度も定期的に家庭療育支援講座を実施した。 ・内容としては、職員が講師となり支援方法について伝えることや、先輩ママさんの講話や保護者の方同士の意見交換などを行った。	

保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	0	・利用開始前に見学を行ってもらうことや、施設の取り組みや支援内容、負担額等説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	0	・その都度必要に応じ、要望がある方には連絡ノートなどを介しながら伝えている。 ・降所時の引き渡しや6ヶ月に1回以上行っているモニタリング時に家庭などの様子の聞き取りも行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8	0	・家庭療育支援講座などを介して保護者の方のつながりを作ることや話し合いの場を設けるようにしている。 ・父親の会を実施し、父親同士の繋がりや相談出来る会を行うことが出来た。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	2	・毎日のミーティングや支援会議の中で情報を共有し対応するように努めている。	・勤務体制の関係上、その日のうちに情報を共有することが難しいことが多いが翌日のミーティング時には共有するように努めている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	0	・長期休業中時などは活動内容を詳しく伝えるなどお便りを配布している。 ・不定期ではあるが、ブログを掲載し状況を伝えている。	
	35	個人情報に十分注意しているか	8	0	・環境整備日を設けて、情報流出がないように心がけている。	
	36	障がいのある子供や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	・子どもの状況に応じてPECSや絵カード、声掛けなど児童の理解に合わせた支援を行っている。 ・日々のミーティングの中で、保護者の方や利用児のニーズに沿って支援を行うように努めている。	
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	8	0	・施設の行事(餅つき会など)に地域の方に参加頂いている。 ・地域のボランティアの方に来ていただくなどしている。	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	2	・マニュアルに沿って職員間でシュミレーションを行っている。	・保護者には契約前に重要事項説明書などでお伝えしているが、アンケートでは知らない方も多かった為、今後再度周知を図っていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	0	・定期的に実施しており、訓練については広報誌などでも伝えるように努めている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等適切な対応をしているか	8	0	・毎月身体拘束防止会議を行い、虐待防止及び身体拘束防止に努めるようにしている。 ・権利擁護などの内容の研修にも参加することや部署内で伝達講習を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8	0	・毎月の身体拘束防止会議の中で身体拘束について理解を深めると共に、現在は身体拘束を行うことは無いが、契約時に身体拘束を行う場合には個別支援計画書に記載の上、了承を得た後行うことを保護者の方に説明を行っている。	
	42	食物アレルギーのある子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	3	・アレルギーの有無はアセスメントなどで保護者に確認している。アレルギーがある方に関しては保護者と相談し対応を協議している。	・医師の指示書に基づく対応ではないが、保護者と都度相談を行いながら対応を確認している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	0	・法人内で協議し結果を回覧している。	